

こうそくちゅう 拘束蟲

投与コスト:15(一匹)

効果:本文参照

寄生部位:食道、胃、および小腸

宿主の口腔内等に潜む、巨大ムカデのような蟲。宿主の命によって敵に絡みつ、麻痺性の毒を犠牲者に流し込みます。

【体力】〈蟲術〉によって命中判定を行なうこと。これは〈白兵戦闘〉による攻撃と同様に扱います。防御行動で使用する事も可能で、[突き返し]も発生します。

命中した場合、対象は難易度2の〈意志力〉判定に成功しないと、体が麻痺して、会話以外のいかなる行動もとれなくなります。ただし、ダメージを受けるたびに難易度2の〈意志力〉判定を行ない、成功すれば毒の効果を消し去ることができます。餌:動物の肉。1日に成蟲1匹につき200g程が必要です

ちばち 地蜂

投与コスト:強度1につき3

効果:本文参照

寄生部位:任意、ただし隠せない

体内に巣を作る蜂。巣のある場所は、大きく盛り上がってしまいます。

地蜂は宿主の命に従って飛び出し、標的に襲いかかります。

これは、【知覚】〈蟲術〉の判定を行なう射撃武器として扱います。

攻撃が成功すると[地蜂の強度÷2]の毒が注入される。この毒の処理はインターアクションで行なってください。

武器名	武器修正	射率	射程	装填数
地蜂	+(強度÷2)	10m	強度	無限大

餌:不要

せんきちゅう 戦鬼蟲

戦鬼蟲:投与コスト80

効果:本文参照

寄生部位:大脳

宿主の脳髓に寄生する最強、最兇の寄生蟲です。宿主に危機が迫ると顔を割り、触角を突き出し、体内の紗と周囲の紗が戦鬼蟲の発信する情報に瞬時に反応し、宿主の全身を書き換えて変異させます。

その強力さゆえに、宿主は、戦鬼蟲に自我を奪われてしまう可能性があります。

変異を行なうたびに、宿主は難易度3の【心力】〈蟲術〉か、難易度4の〈意志力〉の判定に成功しなければなりません。この判定に失敗すると、視界内に敵意を持った者がいなくなるまで、盲目的に戦闘を続けて

します。

戦鬼蟲による変異を行なうと、宿主は以下の能力を得ます。

【体力】を使用する判定にサイコロ+4

【敏捷】を使用する判定にサイコロ+4

【感覚】を使用する判定にサイコロ+6

再生ポイント20

活力に+10

強度4の酸(手)

武器のデータは次の通りです。

武器名	武器修正	射率	射程
電撃	+6	1	18m
鉤爪	+8	—	—
足の爪	+6	—	—

*戦鬼蟲の持つ再生能力は再生ポイント20を持つ再生蟲として扱い、酸は強度4の溶解蟲として扱います

餌:戦鬼蟲は雑食であり、宿主は1日にふたり分の食料を必要とします

ふしちゅう 不死蟲

投与コスト:50

効果:本文参照

寄生部位:不明

無限の回復力で、宿主に不死をもたらす蟲です。

不死蟲は、負傷を数分で癒してしまいます。負傷度と宿主の体力によって再生にかかる時間は違ってきます。この再生スピードが0以下になった場合、傷はほぼ瞬でなおりますが、戦闘などの時間が、ラウンドで区切られている場合は、インターアクションに癒されることになります。

不死蟲が癒しにかかる時間

軽傷:3-【体力】分

重傷:5-【体力】分

致命:10-【体力】分

死亡:15-【体力】分(ラウンド)

餌:不明

よりすじむし 寄筋蟲

投与コスト:強度1につき10

効果:【体力】+強度を追加する。起動中は強度分【敏捷】が減少する

寄生部位:全身の筋肉

【体力】に強度分のサイコロを追加します。起動中は強度分【敏捷】が減少します。

寄筋蟲は、筋肉繊維に酷似しており、宿主の筋肉組織に寄生し、血流から栄養を摂取するかわりに宿主の生存に協力しています。蟲使いは、寄筋蟲を意識を向けた部分に集中させ、自己の筋力を強化することができるのです。

餌:不要

ようちゅう 溶蟲

投与コスト:強度1につき2

効果:酸を射出する

寄生部位:胃

溶蟲は、投与された宿主の胃液を強化し、溶解性の高い酸を生成します。この酸は時間さえかければ、金剛石や黄金でも溶かす事ができます。

この酸は、【体力】〈蟲術〉で命中判定を行なうことができ、この攻撃に対する防御行動は〈回避〉のみが行なえます。

武器名	武器修正	射率	射程
酸	+強度	—	5m

餌:餌は宿主の食事から摂取するが、内臓が溶けてしまわないように、毎日、秘伝の丸薬を飲む必要があります

ひどくむし 緋毒蟲

投与コスト:強度1につき2

効果:毒を注入する

寄生部位:脳幹

宿主の体液を緋い毒に変化させる蟲。素手、もしくは蟲による攻撃でダメージを与えることで、相手に毒を注入します。

毒によるダメージはインターアクションに適用し、毒の強度は緋毒蟲の強度に等しくなります。

餌:石の下などの湿った土のなかにいる、ある種の地虫

しろうちゅう 屍操蟲

投与コスト:30(一匹)

効果:死体を操る

寄生部位:小脳

体長10cmほどの白い蜘蛛。

動物や人間の死体の耳から脳に侵入し脳髓を喰らう蜘蛛に、特殊な訓練を施したものです。死体に寄生させることで、死体を動かし、操ることができます。

訓練により、簡単な命令を与えて動かすこともできます(能力値:5 技能値:2 活力:5)し、屍操蟲の出す糸の届く範囲(通常10mほど)ならば、その糸を通して蟲使いが操ることもできます。その場合、死体の行動は蟲使いが自分の行動を消費し、【敏捷】〈蟲術〉で判定してください。死体の活力は基本的に5とします。

餌:1週間に一度、人間または動物(小動物なら2、3匹分)の脳髓を食べさせる必要があります